

第365回定例会 質問（12月7日）事項一覧

質問者	質問項目
大上 和則 (自由民主党)	[発言方式：分割] 1 クマ被害対策について 2 スポーツクラブ21ひょうごの課題について 3 兵庫陶芸美術館における丹波焼に関する知見の収集と情報発信について 4 地域医療の課題について 5 英語教育について 6 大阪・関西万博について
なかい 隆晃 (維新の会)	[発言方式：一問一答] 1 第4期ひょうご教育創造プランについて 2 兵庫県公立高校一般入試制度について 3 県立学校の教育環境の充実について 4 生活困窮世帯に対する子どもの学習支援について 5 「県立総合衛生学院」について (1) 助産学科及び看護学科定時制における生徒募集の打開策について (2) 介護福祉学科における生徒募集の打開策について
大塚 公彦 (公明党)	[発言方式：分割] 1 物価高を上回る賃上げに必要な県内中小企業への支援策について 2 兵庫県の子どもに対する「大阪・関西万博」無料招待の実施へ 3 住民主体の「通いの場」の活性化について～高齢者が元気な兵庫県へ～ 4 地域社会の課題解決に向けた兵庫県内の「スマートシティ」の取組支援と今後の展望について 5 神戸市中心部と北播磨を結ぶ高速道路構想について
竹内 英明 (ひょうご県民連合)	[発言方式：分割] 1 県庁舎建替えと県職員の意識や意見について ～働き方改革は知事一人の価値基準で決めるものではない～ (1) 県庁建て替えなしを前提とした4割出勤の正式決定によるモチベーションの低下や離職者増の懸念、現場重視の齋藤知事ならば現場で働く職員の声を聞くべきでは (2) 職員の声をデータで。モデルオフィスでの職員アンケートの在宅勤務の過あたり希望日数について (3) 「神戸市の職員はなるべく在宅勤務をしてほしくない」神戸市長発言の背景にある職員としての一体性の確保の必要性について 2 旧兵庫みどり公社の民間金融機関からの借入について (1) 不適切な民間金融機関の借入スキームを依頼した経緯と県側担当者の参考人招致について (2) 当該契約が不適切かつ無効である理由 ア. 地方財政健全化法では、第三セクター等への損失補償について、5つの債務区分に分類するよう定めているが、2014年時点で旧兵庫みどり公社は県の実質負担債務が90%以上という最も経営状況の悪い「Eランク」と位置づけられており、県債管理基金条例で規定する「知事が認める最も確実かつ有利な方法」の運用先ではなかったことは明らか イ. 国債は既に市場で売却されており、ないものがあるようにみせて法が定める財政指標を実態よりよく見せており、不適切であること ウ. 議会の議決証明が必要な契約内容だが、議会では国債の寄託を議決していないこと (3) 議会や県民に隠したままこうした契約が締結されているが、総務省は把握していたのか 3 兵庫県森林組合連合会(以下、県森連)への貸付金9億円について (1) 2019年度の貸付時に前年度の4億円から一気に7億円に増額されているが当初計画にない増額であり、県森連側から働きかけがあった結果と聞いているがどのようなものか (2) 農林水産部は県森連が2018年度末に農林中金からオーバーナイト融資を受けている事実を知ったが、知事や財政当局には2021年度末まで報告しなかったというのは事実か (3) 財政当局は毎年度、貸付金の予算査定を行っているが、その時にも報告を受けていないのか、また財務諸表をみれば資金不足は容易に想像できるがオーバーナイトに気づかなかったのか (4) 知事が財政当局も知らなかったオーバーナイト融資があることを把握したのは包括外部監査の説明を受けた2022年3月11日と聞いているが、4月1日の9億円の貸付を中止するよう知事が指示しなかったのはなぜか (5) 農林水産部は県の貸付金がほぼそのまま農林中金のオーバーナイト融資の返済に充当され、県森連の経営が自転車操業になっていたことを把握しながら、単年度融資を増額、継続し、結果として9億円が収入未済となっていることの責任をどう考えるか (6) 9億円の貸付の決裁権者が知事ではなく次長級という規程の見直しについて
浜田 知昭 (自由民主党)	[発言方式：一問一答] 1 地価調査地点数の減少について 2 豊かな海づくりのための有機肥料活用の調査研究について 3 ゆずりあい駐車場制度の周知及び利用証申請手続きについて 4 商工会議所、商工会の経営指導員の在り方にかかる検討状況、方向性について 5 「全国共通料金制度」の期限措置期間満了と神戸淡路鳴門自動車道の料金について